

大会名	第29回東北高等学校男女新人バスケットボール選手権大会 男子決勝
NO. 206	2019年2月3日13:30
場所	CNAアリーナ★あきた



秋田県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

チームA		チームB	
明 成	51	能代工業	81
宮城1位		秋田1位	

主審:Referee
 大山 修平(山形)
 副審:Umpire 1/Umpire 2
 植田浩司(福島)/水木順仁(秋田)
 テーブル・オフィシャル:Table officials
 秋田西高校男子バスケットボール部
 SS担当:秋田高校男子バスケットボール部

No.	s	明 成	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4		三上光河	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1
5		熊谷壮紘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6	*	喜多陸登 CAP	2	0	0	1	3	0	0	1	0	4	4	2	0	0	1	26
7	*	木村拓郎	4	0	0	2	6	0	1	0	1	3	4	0	0	1	1	15
8	*	加藤陸	6	0	2	3	4	0	0	4	0	5	5	1	0	0	0	30
9		越田大翔	3	0	0	1	8	1	2	5	1	5	6	1	0	0	2	21
10	*	一戸啓吾	12	2	6	2	10	2	2	3	1	1	2	3	0	0	1	32
11		浅原紳介	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	17
12	*	蒔苗純人	8	0	1	3	5	2	2	2	2	3	5	0	0	1	3	18
13		バブシキンダニエル	1	0	0	0	0	1	2	0	1	1	2	0	0	0	0	1
14		小川祥英	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
15		菱倉崇人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16		山内ジャヘル琉人	9	1	3	3	6	0	0	1	0	3	3	1	1	1	1	19
17		山内シャリフ和哉	2	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
18		河合海輝	2	0	0	1	4	0	0	1	1	3	4	0	0	0	0	10
HC		佐藤久夫 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	1	-
合計			51	3	12	17	52	8	11	18	7	30	37	8	3	3	11	200
				25%		33%		73%										

No.	s	能代工業	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REB			AS	ST	BS	TO	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*	須藤陸 CAP	2	0	4	1	4	0	2	1	0	4	4	1	1	1	0	34
5		粟屋颯太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6		森山陽向	3	0	0	1	5	1	2	3	1	11	12	0	0	0	0	20
7	*	秋元淳之介	27	2	3	6	14	9	11	4	5	10	15	0	1	1	1	27
8	*	伊東翼	16	2	4	5	9	0	0	3	1	0	1	6	2	0	0	30
9		上村悠真	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
10		上村大佐	7	0	0	3	4	1	2	0	1	1	2	2	0	2	1	13
11		佐々木駿汰	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
12		伊藤誠馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	*	中山玄己	11	2	6	2	5	1	2	0	0	3	3	1	1	0	0	30
14		小形佳史	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	*	成澤頼	4	0	0	1	6	2	2	2	4	4	8	1	1	0	0	20
16		大石隼	9	3	6	0	2	0	0	0	0	2	2	1	0	0	3	18
17		田中侑治	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
18		工藤粹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
HC		小野秀二 /TEAM	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	-	-	-	0	-
合計			81	9	23	20	50	14	21	15	12	35	47	12	6	4	5	200
				39%		40%		67%										

男子決勝は、明成対能代工業という東北地区のライバル対決となった。

第1ピリオド序盤、能代工業は粘り強いマンツーマンディフェンスで明成の24秒バイオレーションやオフenseファウルを誘発すると、#13中山、#7秋元らがテンポよく3Pを沈めて試合の主導権を握る。明成も途中出場の#16山内(琉)がジャンプショットや速攻からの得点で食い下がるが、能代工業は#7秋元がオフenseリバウンドやスティールでチームに勢いを与え、明成15-24能代工業で第1ピリオドが終了。

第2ピリオドに入っても能代工業の激しいディフェンスを明成は攻めあぐみ、得点が伸びない。能代工業は#8伊東が巧みな1対1から得点を重ね、じわじわとリードを広げる。#6森山、#10上村(大)、#16大石らベンチスタートのメンバーも思い切りのよいプレイを見せ、試合は完全に能代工業ペース。能代工業が25点の大量リードを奪って前半が終了。

第3ピリオド序盤も能代工業が順調に得点を重ね、開始3分で明成24-53能代工業となったところで明成はタイムアウトを請求。そこから明成は#10一戸が立て続けに3Pを沈めて流れをつかみかけるが、能代工業は#4須藤が体を張ったディフェンスでこの試合2つめのオフenseファウルを誘い、試合の主導権は再び能代工業へ。#7秋元が積極的にドライブを仕掛けてファウルを誘い、フリースローを着実に決めてリードを広げる。明成40-68能代工業で第3ピリオドが終了。

第4ピリオドに入っても能代工業は気迫のこもったディフェンスを見せ、最後まで高い集中力を保ちながら試合を進める。試合を通して能代工業はボールがよく回り、リバウンドでも優勢で明成に反撃の糸口を与えなかった。30点差をつける完勝で、能代工業が10年ぶり16回目の優勝を飾った。

